

## 執筆者紹介（掲載順）

執筆者

- ①所属と職位、②専門分野、③主な担当科目、
- ④教育・研究業績、地域貢献などの紹介

甕 佳代子

- ①メディア学部メディア情報学科 准教授
- ②地域振興、芸能史、文化振興、ステージ制作
- ③メディア概論、ステージ空間概論、制作演習（ステージデザイン）、舞台運営、ゼミナール
- ④1）甕佳代子：都市部における文化活動団体の運営戦略—名古屋市の文化小劇場をめぐる事例から—、名古屋大学大学院修士論文（2004）[査読有]
- 2）甕佳代子：幫間の研究—幫間の近代史を中心に—、芸能史研究、芸能史研究会、第166号、20-32（2004）[査読有]
- 3）甕佳代子：住民と行政のパートナーシップ—名古屋市の文化小劇場の事例から—、アートマネジメント研究、美術出版社、第6号、49-59（2005）[査読有]
- 4）甕佳代子：地域観光資源を支えるネットワーク—岐阜県の事例から—、名古屋大学社会学会大会、第14回（2014）
- 5）甕佳代子：文化享受と不平等—問題解決における文化装置の役割と—、名古屋大学大学院博士論文セミナー（2019）
- 6）甕佳代子：地域文化振興拠点としての図書館を目指して、専門図書館、専門図書館協議会、No.303、2-8（2020）[査読有]

黄 仙恵

- ①メディア学部メディア情報学科 准教授
- ②メディアデザイン学、コンテンツビジネス、エンタメビジネス、韓流
- ③「韓流エンタテインメント実践」（メディア学部）  
「メディア海外研修（韓国）」（メディア学部）  
「ビジネスモデルデザイン」（ビジネスデザイン研究科）  
「表象文化研究a」（ビジネスデザイン研究科）  
「論文演習Ⅰ、Ⅱ」（ビジネスデザイン研究科）
- ④1）単著『韓国コンテンツのグローバル戦略 ドラマ・K-POP・ウェブトゥーンの未来地図』（星海社、2023）
- 2）共著『日韓関係のあるべき姿—垂直関係から水平関係へ』（明石書店、2022）
- 3）共著『水平化された日韓関係』（博英社、2023）※韓国語
- 4）論文「伝統文化とコンテンツとの相乗効果によるコンテンツツーリズムの可能性—ドラマ『花嫁のれん』を活かした観光資源の再創造—」（コンテンツツーリズム学会、2022）

劉 茜懿

- ①メディア学部 助教
- ②映像、アニメーション、現代美術
- ③アニメーション I・II、映像制作 など
- ④2014年、早稲田大学博士課程修了。コンテンポラリーアーティスト、映像監督。2013年上海新青年芸術人物賞を受賞。2022年、雑誌「美術の窓」(生活の友社)で“評論家が注目する新人アーティスト19人”に選ばれる。2021年、成都ビエンナーレに出展。作品はスイスのウリ・シッグ美術館、香港M+美術館、中国・深セン何香凝美術館、湖北美術館などにコレクションされている。執筆論文に『視覚芸術作品“鑑真”の創作～時空超越と哀愁を主としたポストモダンの視覚表現～』(富士ゼロックス小林節太郎記念基金)などがある。

<http://zgmsbweb.com/home/index/detail/relaId/17799>